

共同印刷、「トップシール紙トレイ」を開発 多機能でサステナブルな包材として、持続可能な社会の実現に貢献

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰、以下:当社)は「トップシール紙トレイ」を開発しました。紙トレイへのトップシールで高い密封性とバリア性を実現。液漏れせず、内容物によっては賞味期限の延長も可能です。また内面フィルムとトレイを簡単に分離できるので、分別のストレスも軽減します。本製品は、10月12日から東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2022 東京国際包装展」へ参考出品します。

当社は、紙トレイ容器にプラスチックフィルムがシールできる「トップシール紙トレイ」を開発しました。液漏れの心配がなく、食品の持ち帰り時にも安心・安全な密閉紙容器です。本製品は高い密封性とバリア性を特長とするため、ガス置換包装(MAP包装)による賞味期限の延長を可能としました。中食向け容器として電子レンジの使用にも対応しています。

また紙トレイ部分と内面フィルムが分離しやすいように加工されているため、使用後の分別廃棄が容易で、リサイクル性に優れた製品設計になっています。紙トレイの素材に森林認証紙を使用することで、さらに包材の環境性能を高めることができ、付加価値の向上にもつながります。

「トップシール紙トレイ」はプラスチック使用量の大幅な削減とフードロス削減に同時に対応する多機能でサステナブルな包材として、持続可能な社会の実現に貢献いたします。



トップシール紙トレイ

(写真は透明なフタ材を使用)

【機能・特長】

- ・高い密封性とバリア性を保持し、ガス置換包装による食品の賞味期限延長を可能にします
- ・使用後に内面フィルムと紙トレイを分離しやすく、感覚的にも分別がわかりやすい構造です
- ・容器の外周およびトップシール材に印刷することで、パッケージとして多彩な表現が可能です
- ・(現行プラ容器と比べて)プラスチック使用量を約90%削減しました
- ・製函した紙トレイはスタックさせた状態での納品が可能のため、設備投資負担を軽減できます

本製品は、2022年10月12日(水)～14日(金)に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2022」の当社ブースにて参考出品いたします。